

中央ろうきん助成制度 “カナエルチカラ”

～生きるたのしみ、働くよろこび～

2026 応募用紙

中央労働金庫 御中

作成日：2025年10月29日

※ 「2026 応募要項」、「記入の手引き」をよくお読み取りのうえ、作成願います。

1. 応募概要

応募団体名 ※法人格を含む正式名称をご記入ください。	(フリガナ) トクテイヒエイリカツドウハウジンスターズアーツ			
	特定非営利活動法人スターズアーツ			
団体代表者	役職名	理事長	氏名	本宮透雄
事業・活動の実施地域	※該当地区をチェック☑してください(複数可) <input type="checkbox"/> 茨城 <input type="checkbox"/> 栃木 <input type="checkbox"/> 群馬 <input checked="" type="checkbox"/> 埼玉 <input checked="" type="checkbox"/> 千葉 <input checked="" type="checkbox"/> 東京 <input checked="" type="checkbox"/> 神奈川 <input type="checkbox"/> 山梨			
	市区町村名：港区			

応募事業名 (40字以内)	障害者や高齢者を専門とした防災ネットワーク(避難救済支援)の構築と立上げ			
応募金額	4	9	万円	※1万円未満を切り捨てた額をご記入ください。
応募事業 企画概要	＜受益者(誰に対して行うのか)＞ ※今回実施する事業のすべての受益者をご記入ください。 東京都港区・千代田区・中央区・渋谷区・品川区にお住いの重度障害当事者や高齢者(独居一人暮らし 寝たきり 他)その家族や関係者			
	＜事業概要＞ ※上記の受益者に対して、どのような事業・活動を実施されるのかを簡潔にご記入ください。 近々で起こりうる自然災害(首都圏直下型・南海トラフ沖地震含む)が発生時、障害当事者(重度身体・精神的)や高齢者(独居)の避難救済支援方法が定められていないことで孤立してしまう障害当事者や年々増加の一方の高齢者 誰一人取り残さない発災時の防災救済ネットワークの構築を目的とし、防災避難対策や方法や手段を日頃から話し合い助けを求められる機会の創出・防災減災知識の取得や心構え・意識や知識の更なる向上のシンポジウム開催で不安解消と災害時に実施し救済する事を目的とする			
	＜既存事業との違い＞ 本助成は、新たな事業・活動の立ち上げを応援する助成です(既存の事業・活動に新たな視点や切り口・要素や方法を加えたものも含めます)。 ※これまで団体が行ってきた事業・活動との違いや、応募事業のどこが新しい試み・チャレンジであるかを分かりやすくご記入ください。 重度身体障害者の避難は現状、電動昇降機付きの特殊車両の手配や配車依頼、呼吸器装置やターミナル、緊急時切り替えバッテリー交換、電動ベッド、ドレインなど重装備での移動、医療体制の確保、人手の確保は困難を極めていることは重々承知ではあります あえて避難所までの移動や避難が出来るのかを実施してみる場として、検証する機会でもあり 地域とのつながりを確認し自ら避難困難や助けを求められる関係の構築とつながりを作ることで地域社会とのつながりや関係性を築いていく事を目的としたいのと目指すことを目標としています			

<p>応募事業の 背景・必要性</p>	<p>以下の2点について分かりやすくご記入ください。</p> <p>① 応募事業を考えるに至った背景 障害当事者(重度身体・精神的)や高齢者(独居)の避難救済支援方法が定められていないことで「私たちの場合はどうしたらいいのか?」「行政や地域からどのような支援や救済があるのか?」など殆どの障害当事者や家族・関係者、年々急激に増えていっている高齢者の不安や心配は絶えることなく災害が起こった場合の不安で心配な日々を過ごしているを知った為(相談問い合わせが多くある為)</p> <p>② なぜ団体が応募事業を実施する必要があるのか 被災証言から学ぶ防災道徳をコンセプトとして掲げている我々に上記の件で多くの問合せがあり行政や関係各所に相談や協力要請を行い発起することとしました</p>
<p>応募事業の ありたい姿・ 目標</p>	<p><ありたい姿> ※応募事業の最終的なゴールは何だと考えますか。3行以内で簡潔にご記入ください。 ・民間企業の参加や協業 新しい防災の在り方の構築 立上げ 居住状況を把握した自宅セキュリティを請け負っている警備会社だからこそ出来る 避難困難者や独居老人などの救助体制の対応や構築や備え 店舗が避難所になったりと災害発生時の新しい防災の在り方の構築</p> <p><目標> ※上記ありたい姿に対して、助成期間内に達成したい目標を3つ以内・簡条書きでご記入ください。 ・民間企業との連携と参加呼びかけによる企業参画 ・新しい防災意識や体制の構築 ・誰一人取り残さない防災ネットワーク(避難救済支援)の構築と立上げ</p>

2. 応募内容

(1) 実施内容および実施計画

実施内容	<p>※だれが、どこで、何を、どのように行うのか、項目をたてて具体的にご記入ください。</p> <p>活動名 障害者や高齢者を専門とした防災ネットワーク(避難救済支援)</p> <p>趣旨 重度身体障害当事者や精神知的障害当事者・独居高齢者やその家族、関係者に対する社会的孤立の予防と解消と避難防災対策と対応の構築への取組</p> <p>時期と開催回数 2026年4月～7月 広報と準備 毎月第四土曜日 実際の避難所での実体験会と移動支援付き避難訓練 年10回開催</p> <p>対象者 東京都港区・千代田区・中央区・渋谷区・品川区にお住いの障害当事者や高齢者 その家族や関係者</p> <p>参加人数(見込み) 1回50名・10回開催 500名</p> <p>実施場所 港区公共施設や区役所研修室 広報など宣伝周知の方法 各種SNS 公式HP PRタイムス チラシ投函 団体内の実施体制 会員・理事よりコアメンバー10名 学生ボランティア30名 有志(有資格者)20名 計70名体制</p> <p>外部協力・団体 防災を唱える個人は多く、法人登記した活動組織は非常に少ない 多岐にわたり協業を呼びかける予定 学生ボランティア 福祉医療系の学校、医療福祉用具メーカーへの呼びかけを予定</p>	
	実施 年 月	実施項目

2026年4月	助成事業開始
5月	広報活動(各 SNS・チラシ・広告媒体・他)開催趣旨や実施イメージのプレゼン・宣伝・案内
6月	移動支援ボランティア募集 有志メンバー募集 障害当事者(重度身体・精神的)や高齢者(独居)交流会・防災シンポジウムの開催
7月	広報活動(各 SNS・チラシ・広告媒体・他)開催趣旨や実施イメージのプレゼン・宣伝・案内
8月	移動支援ボランティア募集 各ボランティア団体・産学連携(福祉大学との連携締結)での専門員参加誘致と募集
9月	重度身体障害者・精神的・独居高齢者を専門対象とした防災ネットワーク(発災時の避難支援と救済手段と方法の構築)相談会/交流会 8/30 開催 非常食の試食会 備蓄品の試飲や試食会 咀嚼流動食(特別食)などの紹介 非常食メーカーサンプル提供
2026年10月	重度身体障害者・精神的・独居高齢者を専門対象とした防災ネットワーク(発災時の避難支援と救済手段と方法の構築)相談会/交流会 9/27 開催 階段昇降機 重度身障者向け福祉用具設備の紹介や試乗・お試し 段差解消スロープ 福祉用具メーカー提供
	中間報告書提出
2026年11月	重度身体障害者・精神的・独居高齢者を専門対象とした防災ネットワーク(発災時の避難支援と救済手段と方法の構築)相談会/交流会 11/22 開催 第二回実際の体育館を借りて避難体験会(1泊)複数グループにて自宅から避難所までの移動支援体験会(学生・社会人ボランティア参加)
12月	重度身体障害者・精神的・独居高齢者を専門対象とした防災ネットワーク(発災時の避難支援と救済手段と方法の構築)相談会/交流会 12/20 開催 第三回実際の体育館を借りて避難体験会(1泊)複数グループにて自宅から避難所までの移動支援体験会(学生・社会人ボランティア参加)
2027年1月	重度身体障害者・精神的・独居高齢者を専門対象とした防災ネットワーク(発災時の避難支援と救済手段と方法の構築)相談会/交流会 1/24 開催 第四回実際の体育館を借りて避難体験会(1泊)複数グループにて自宅から避難所までの移動支援体験会(学生・社会人ボランティア参加)
2027年2月	重度身体障害者・精神的・独居高齢者を専門対象とした防災ネットワーク(発災時の避難支援と救済手段と方法の構築)相談会/交流会 3/28 開催 第六回実際の体育館を借りて避難体験会(1泊)複数グループにて自宅から避難所までの移動支援体験会(学生・社会人ボランティア参加)
2027年3月	助成事業終了
	完了報告書提出
2027年4月	

(2) 実施体制

応募事業の実施メンバー (団体内の主な担い手を記入)			応募事業の連携・協力者(団体・個人問わず記入)		
	氏名	事業における役割		協力者名(団体・個人)	連携・協力内容
1. 代表者	本宮透雄	総指揮 統括運営管理	1	日本大学 芸術学部	学生ボランティア 紹介
2. 会計	盛田清吾	財務 経理入出金管理	2	セコム	有志参加者 紹介

3	高岡和宏	運営実務	3	フランスベッド	福祉用具 貸出
4	中込ひとみ	運営実務	4		
5	元井美智子	運営実務	5		

(3) 応募事業の資金内訳

① 予算書 ※単価・数量等をできるだけ詳細にご記入ください。

(単位:円)

費目	内容 (単価・数量等も記入)	予算額①	うち労金 助成金②	うちその他の財源* ① - ②
委託料 看護師諸謝(イベント看護)	看護師派遣・現場立ち合い 8回分	240,000	240,000	0
使用料及び賃借料(機材レンタル)	12回分 1回 3,000円 段差解消スロープ、フラット板、拡声機(マイク・スピーカー他)、特殊ジャッキ工具 3,000円×12回	36,000	36,000	0
旅費交通費(ボランティア・医療有志)	8回分 ボランティア 1回 5,000円 1,000円×5名×8回 40,000円 と 8回分 医療有志 1回 5,000円 1,000円×5名×8回 40,000円(計80名) 有志参加交通費	80,000	80,000	0
食糧費(ボランティア・医療有志)	8回分 ボランティア 1回 5,000円 1,000円×5名分×8回 40,000円 と 8回分 医療有志 1回 5,000円 1,000円×5名分×8回 40,000円(計80個) 有志参加お弁当	80,000	80,000	0
消耗品(養生・文具・用紙 他)	12回分 1回 5,000円 養生 コピー用紙 文具 他	60,000	60,000	0
委託料 医師諸謝(イベント看護)	医師派遣・現場立ち合い 8回分	400,000	0	400,000
通信・運搬費(切手・郵便代)	12回分 1回 3,000円 切手 郵便代	36,000	0	36,000
費用合計		932,000	496,000	436,000

※「その他の財源」は自主財源、本助成金以外の助成金等をご記入ください。

② 他の助成金

※応募事業に関連して応募予定(応募中を含む)の他の助成金があれば主なものを2つまでご記入ください。

交付団体・機関名	助成金名	助成期間	応募金額	結果
草の根市民基金・ぐらん	都内草の根助成	2026年4月～ 2027年3月	50 万円	<input type="checkbox"/> 決定 <input checked="" type="checkbox"/> 結果待ち
コープ未来財団	くらしと地域づくり助成	2026年4月～ 2027年3月	20 万円	<input type="checkbox"/> 決定 <input checked="" type="checkbox"/> 結果待ち

(4) 助成期間終了後の展望

本助成は、毎年の応募・選考を経て、最長で3年間助成する継続助成の仕組みを有しています。
 ※助成期間(1年間)終了後、どのように事業を継続・発展させていくか、財源確保の見直しも含めて事業計画をご記入ください。

この実施一年間で色々な事例や要望など様々な角度からの重要なデータと必要事項が把握できると考え 協業した企業と契約料やサービス料 有償事業として適正価格を見だし行政(区役所・防災課・高齢福祉課)と相談しながら 有償事業に切り替えていこうと考えています

3. 応募団体概要

設立年月	西暦 (2011年 6月)		法人格取得 西暦 (2022年 8月)			
設立目的	歴史上で起きた自然災害の被災証言を通し防災道徳に結びつけた語りを舞台化、企画構成し開催 歴史と言う記録に刻まれてしまうのを見過ごさず今後の自然災害の際に教訓として活かせるよう残された記録をアート之力を利用して発信し次世代を担う人達に自然災害から学ぶ危機管理と防災道徳や予防を行う活動を目的とする団体です 実績(成果)として産学官連携を構築し、設立以降は年2回のペースでエンタメ朗読公演(300~500名規模)を毎年開催この1年の主な活動としては、毎月「防災シンポジウム・意見交換会」を企画、毎月ゲストを迎え一般の方々との交流を開始 国立国会図書館東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」にスターズアーツの活動「被災証言 民話 公演での朗読動画」がコンテンツとして正式採用 国立国会図書館アーカイブで公開発信、防災コンテンツ、南海トラフ首都圏直下型地震の防災道徳、学習教育コンテンツとして活用され始めたところです					
主な事業・活動	※助成金・補助金や行政・企業・他団体との協働・委託事業等の実績もご記入ください。					
	文化庁 ARTSforthefuture 1(文化芸術活動支援事業)					
	文化庁 ARTSforthefuture 2(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)					
	サービス等生産性向上IT導入支援事業費補助金 IT 補助金					
理事・監事	理事	9	人	監事	1	人
職員数	職員数	0	人	うち常勤有給職員	0	人
会員数	正会員(個人)	69	人	正会員(企業等)	11	団体
	その他会員(個人)		人	その他会員(企業等)		団体
ボランティア数	50	人	※応募時点での人数をご記入ください。			
連携機関	① 東北大学 災害研究所			※通常活動における主な連携機関(機関名・部署)を3つ以内でご記入ください。		
	② 日本大学 芸術学部					
	③ 東京アニメーションカレッジ					
収入合計	(前年度) 1,840,000	円	(今年度見込) 4,500,000	円		
上記内訳	会費	172,000	円	10	%	※前年度収入合計の内訳(金額と割

P. 7 応募用紙 (助成1年目)

	寄付金	890,000	円		%	合)をご記入下さい。割合は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までをご記入ください。
	助成金/補助金		円		%	
	自主事業	98,000	円		%	
	委託事業		円		%	
	その他	688,888	円		%	
支出合計	(前年度) 1,490,000		円	(今年度見込) 4,000,000		円
ホームページ(URL)	https://starsarts.or.jp					
SNS	※利用中のSNSにチェック <input checked="" type="checkbox"/> してください(複数可) <input checked="" type="checkbox"/> X〔旧:Twitter〕(ユーザー名: @sinew201106) <input checked="" type="checkbox"/> Facebook(ユーザー名 @starsarts2024) <input checked="" type="checkbox"/> Instagram(ユーザー名: starsarts2024) <input type="checkbox"/> LINE(アカウント名:) <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 利用なし					

中央ろうきん助成制度 “カナエルチカラ” 2026 連絡先申出書

記入日 2025年10月29日

団体名 ※法人格を含む正式名称をご記入ください。	特定非営利活動法人スターズアーツ			
団体代表者	役職名	理事長		
	(フリガナ)	モトミヤユキオ		
	氏名	本宮透雄		
	生年月日	(和暦) 1964 年 1 月 22 日		
応募担当者 ※代表者以外の担当者がある場合、ご記入ください。	役職名	副理事長		
	(フリガナ)	タカオカカズヒロ		
	氏名	高岡和宏		
団体住所 ※個人宅の場合、様方もご記入ください。	〒 107-0061 東京都港区北青山 1-6-1-118 (団体専用・個人宅__高岡__様方)			
連絡先 ※日中連絡可能な先をご記入ください。		氏名 (役職)	電話番号 (携帯電話)	Eメールアドレス
	第1希望先	高岡 (副理事)	03- 5413- 8055 (080- 4635-5829)	takaokakazuhiro@starsarts.or.jp
	第2希望先	本宮 (理事長)	- - (090- 4827-8521)	Yukio.motomiya@starsarts.or.jp
	第3希望先	盛田 (財務)	- - (- -)	@

特記事項 (本応募に関する連絡について特記すべきことがあればご記入ください。)

特になし よろしくお願いたします。

個人情報の取扱いについて

本助成制度で取得する個人情報につきましては、①選考、助成金交付、当金庫が実施するセミナーやイベントに関する連絡・手続き・管理、②その他当金庫が必要と判断した各種書類の送付・連絡に必要な範囲で利用します。

また、取得した個人情報は当金庫が責任をもって厳格に管理し、第三者に提供することはありません。

なお、当金庫の個人情報取扱方針(プライバシーポリシー)については、店頭またはホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。(中央ろうきんホームページ <https://chuo.rokin.com>)

【ご注意】

メールを送信いただく際は、メールアドレスを正しくご入力ください。

ご応募メール受信後、1週間以内に事務局から送信アドレスへ「受領メール」をお送りいたします。1週間以上経過しても事務局からの「受領メール」が無い場合は、応募メールが届いていない可能性がございます。お手数をお掛けしますが、事務局までご連絡ください。

中央ろうきん助成制度“カナエルチカラ”2026

応募団体アンケートにご協力をお願いします！

本助成制度の今後の発展と中央労働金庫（以下、「中央ろうきん」という）の社会貢献施策の参考とさせていただきますため、下記のアンケートにご協力をお願いいたします。

なお、本アンケートは選考とは一切関係ありません。

<p>①本助成制度のことは何でお知りになりましたか。 (該当項目に☑をつけて下さい。 複数回答可。)</p>	<p>☑応募要項（入手先： 公式ホームページ) □メールリスト（発信元：) ☑助成金情報サイト（サイト名： ボラセン) ☑当金庫ホームページ □その他 ()</p>
<p>②本助成制度を選んだ理由をご記入ください。</p>	<p>ネームバリュー 価値の創出</p>
<p>③〈中央ろうきん〉に期待する助成金以外の支援があればご記入ください。</p>	<p>もっと店舗を多くしてほしい 横のつながりを増やしてほしい</p>
<p>④本助成制度の原資は、〈中央ろうきん〉の収益の一部です。 〈中央ろうきん〉の利用者や職員へのメッセージがありましたらお願いします。</p>	<p>私も利用者で、今後も利用させていただきたく</p>

ご協力ありがとうございました。